

礼拝プログラム

2018年5月20日

司会: 福島兄 奏楽: ボウト姉 通訳: 石塚姉

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: * Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈祷: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

「祝福への旅立ち」 榊原宣行師

“Embarking on the Journey of God's Blessings”

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝祷: * Benediction

アッシャー: スコット姉、ワトソン姉

グリーター: バークスデル姉、須波姉

ナーサリー: 石井姉、ストーン姉

チルドレンチャーチ: プロクター姉、慶太兄

セキュリティ: 町田兄

* 印筒所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

来週27日の合同野外礼拝は日本語担当です。

さ来週、3日の礼拝

司会: 町田兄 奏楽: 大倉姉 通訳: 町田姉

メッセージ: 「最後に伝えておくべきこと」

賛美: 新聖歌284、新聖歌458

アッシャー: ホッグ姉、イノサント姉

グリーター: アーリー姉、石井姉

ナーサリー: 西井姉、パーク姉

チルドレンチャーチ: テリケス姉、奏姉

セキュリティ: ジェイ兄

おしらせ

本日の礼拝後の予定
コーヒー、榊原先生ご夫妻と共に
ユースペアレントミーティング、セキュリティミーティング

■本日の礼拝によろこそいらっしやいました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■今日はオレンジ郡教会より榊原宣行先生をお招きして礼拝メッセージを取り次いでいただきました。また礼拝後の時も導いてくださいます。先生の御用に感謝します。大倉牧師はオレンジ郡教会にて礼拝メッセージ、バイブルスタディー、を取り次ぎ、修養会に関するミーティングもっています。

■5月13日、役員選挙がもたれ、スコット恵子姉が再選、町田哲哉兄、大野智章兄、アーリー美智子姉が選出されました。川久祐子姉は二期二年目を迎えます。理事はバークスデル喜美子姉が再選されました。婦人会ではワトソン麻希子姉が選ばれました。

■修養会の申し込みを受けつけています。お配りしております申し込み用紙に必要事項を記入して英子姉にお渡しください(申込用紙は牧師オフィスドアにあります)。締め切りは5月27日(日)です。バスの乗車予約もお忘れなく(現在、あと残り10席です)

■来週の日曜日はAdmiral Baker fieldにて10時より野外礼拝をもちます。(Admiral Bakers Field: 2400 Admiral Baker Rd., SD, CA 92120) **教会での礼拝・集会はありませんのでご注意ください。**礼拝後にはポットラックランチ、BBQを楽しみましょう!(来週は礼拝プログラムを配布しませんので、ご注意ください)。

■6月3日(日)には市内でロックンロールマラソンがもたれ、このために閉鎖されるフリーウェイがあります。事前にご確認ください(閉鎖されないフルウェイもありますので、ルートを変えれば教会に来ることができます)。

今週、さ来週の予定

23日 & 30日(水)	水曜集会	7:30pm-
24日 & 31日(木)	木曜集会	10:30am-
27日(日)	合同野外礼拝	井上薫師
2日(土)	賛美チーム練習	10:00am-
	スタンドウーマン	於サンタアナ
3日(日)	カレーランチ、ユース	

客不恵

ある時、ペテロ第一の手紙を読んでいました。

『過ぎ去った時代には、あなたがたは、異邦人の好みにまかせて、好色、欲情、醉酒、宴楽、暴飲、気ままな偶像礼拝などにふけてきたが、もうそれで十分であろう』(4章3節)

この中の『もうそれで十分であろう』という言葉に特に心がとまりました。

大抵、私達は自分のしたいことをしながら生きています。その中には良きこともあれば、すべきではないこともあります。そんなすべきではないことをし続けていると、「これでいいのだろうか、このままでいいのだろうか」という思いが心をよぎることがあります。しかし、多くの場合、そんな思いはかき消されてしまい、深刻な事が起きるまで、それは継続されます。

私達のことをよく知り、私達のことを想って、「もう、十分ではないか」と語りかけてくれる存在がいる人は幸いだと思います。窮地に向かっている私達にとって、その一言は確かに私達を救い、新しい可能性に導いてくれる言葉だからです。同時にこんなことも思います。もしかしたら私達はそんな一言を言ってくれる誰かを待ち続けているのかもしれないと・・・。

時に主は私達に「さらに励みなさい」と語られ、また同時に「もう十分ではないか」とも語りかけます。自分の願いではなくて、そんな主の言葉を聞き分け、それに従うことができたらと願います。